

スクラム



『南海トラフその日が来たら』

PTAバドミントン大会お疲れさまでした。勤続11年目ともなると、会場で知った顔がたくさんおられて、いろんな人と会話をすることができてとても嬉しかったです。ただ、頭の中でイメージしている動きに体がついてこないこと、終わって2日経つにもかかわらず筋肉痛がやってこないことに年を感じます(笑)みなさまもお疲れが出ませんように。

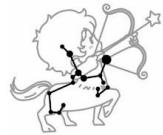
さて、先日書いてもらった防災の感想文がどの子もしっかりと書けていましたので、紹介をしたいと思います。みんなびっしりと書いていたので、さっそく大阪気象台からお礼のメールが来ました。みなさんご協力ありがとうございました。

地震は、いつも通りの日々に来るものだと分かっていた。また、何時もまだ大きな揺れがくる可能性があると分かっていました。だからその日だけ地震を気にするのではなくて、日頃から地震に気を付けるべきだと分かっていました。僕は震度4程度しか、才覚のは受けたことがありませんが、震度7になるとその時に慌ててしまうと思ったので、冷静にいるために防災グッズを集めています。時期によって服が変わったり賞味期限が切れたりするので、何回かに亘り程度防災グッズの確認をしています。そして南海トラフを乗り越えて生きていけたいです。

地震はいつも来るからねから、いつももいよいよ防災グッズや災害に備えておくものを用意しておきたいか大切だなと改めて思った。地震がおきましても、震災から来るから油断したりダメだなということから、津波が来るかもしれないから、高層階に逃げたり、海の近くから立ちよる。とても遠い場所に逃げて海の近くには立ちよらなければ、これを自分で分かってから、小さい子とかと一緒にしたら、ちょっとでも命を取るかも知れないからみんなで教えたりしていきたいなと思った。

私は、二の南海トラフのマンガを読んだ感想は、実際にいた町には地震や津波などが来た時のために、防災食を準備する事が重要だと思いました。そして、ハザードマップなどの石窟認定事前にしておく事が重要だと思いました。地震がもく来たとしても安心せずには、すぐに避難する事も重要なと思いました。実際に、このマンガの中の家族は、油断せずに退避したからか、もじ退避していなかったら死んでしまっていたかもしれません。退避する事の重要性が良く分かったので、避難所を土場所もしがり確実にしておきました。そして、マンガの後の大規模な震災への備えの部分を見て、もう一度家にかじて震災への備えを確認し、家具を固定したり、防災食を準備しておこうと思いました。本からは、地震への心配をもと津波、防災をしようと思いました。今は土木は海岸に近いので、今まで避難しようと思つてました。

私は南海トラフのマンガを読んで感じたことは、南海トラフは二回、三回とかけて地震がくるので、一回目がきても油断をせずに家族の安全と自分の安全を考えて行動をする。自分の部屋にある固定されていない本棚や机を固定する器具を買って、いつ地震が来てもよいように食料や避難場所を家族と話し合いをして、しっかりと決めておく。大きな地震がきた時にすぐに机の下に潜くれて、ゆれがおさまったらすぐに高い所に逃げるようにしようとしました。マンガが南海トラフのことをかかえているのじでも読みやすく、内容がわかりやすくてとてもよかったです。

しわす
師走

12月

いて座

発行日: 12月3日

発行者: 2年学年主任 堺

中学生の感想文あるある ①行数をかせぐためにだんだん字が大きくなっていく。

②まちがっても枠からはみ出さない

このようにだんだん字が小さくなっていく感想文は珍しい！何か熱意を感じる感想文ですね。

ひな人する時に気をつけた事やにげた後の行動の大切さがわかりやすくて
すべて気をつけないといけない事はとても多いから、南海トラフがきた時にあ
せらすすみやかに行動しようと思いました。2枚目に南海トラフ地震について
くわしくかかれていてので後にあらかじめてもわかりやすよめた。地震がさ
らに週間後でも巨大地震が来る可能性があるのはこわいなと思いました。
地震がきた後は安心して生きていくのがむさかしそうだなと思いました。まがい
後にくわしく地震対策が書いてあってよどぎも安心できるので、上手でよかったです
と思いました。自分の家ではこんなに地震に付いて向かった事ががないので
みてたで書いててこうと思へました。家の防災意識を高めなことが一番

このマンガを読んで、南海トラフ地震の怖さが改めて分かりま
した。北震で物がたおれたり、津波で家が流されたり、考えただ
けでもう怖いですが、もしかしたら明日に起こるかもしれない
う思って、普段から家具を固定したり、避難場所や経路
を把握しておくことが命を守るために必要なことだと
再確認出来ました。これからは、いつ地震が来ても大
丈夫のように備えていくことにしました。

この南海トラフのマンガを読んで見た感想は、地震
が起きたときに起こる津波や余震が怖いかもしない
い状況で自分がるべき行動が分からず怖いと思
いました。また南海トラフ地震を遠いものと見なす
地震が大きくなる行動が大きくなる後の大震行動を
日頃から意識を持って生活しなければいけないと
気付くことができました。

南海トラフのマンガを読んで、常に緊急地震報が急にきたときの怖さや
スマホでないと未報とか見て行動しないといけないから、津波が来た
ときにどんな風に避難するかなどとかといつもして新しい警
戒法が出て巨大地震警戒が出て泳が解除となりと何も出来ないの
で、生中継を見てあわてていいから、なので、いつ南海トラフが来ても泳ぎやけ
たり食べたり、スマホのバッテリーを準備してあわてていいからなどとかなり
南海トラフが来るとこに逃げかかるかあわててか分からなくて

私は急に地震がきたら、すぐに自分自身を守ろうと机の下やあまり物のない部屋に
行こうと思いました。それでゆれが「おさまった」
防災セットやタクの食べ物を持って津波ひなんタワー
や、ひなん場所に行こうと思いました。このマンガを読ん
で最悪本当に大きな地震がきたら、1週間以上家に帰れ
ないのと、長い事を覚えておれば食料もあっていいのはまじでいい
です。なのでじしんはまほしくないです。いつじしんがきたとしても、日頃
から備えをしてこうと思いました。

気象庁の南海トラフのマンガを読んで、緊急地震報が来たら、すぐ
に机の下にもぐって身を守りました。大きな地震が来ても
冷静に落ち葉して、安全な場所に行くことが大切だと鬼いました。
津波が来てもあせらず、次どういう行動をとるのか考えていくのが大切だと
分かりました。安全な場所に移動する前に警報解除がされてから
移動する方がいいと分かりました。地震が来てから備えるのではなく、
日頃から防災に備えて、もし来たらどうするのか話し合をしておくのが大切だと
鬼いました。

南海トラフのマンガを読んで、防災意識が高まりました。携帯電話やラジオ
の放送などの防災警報に常に注意します。地震が来た時、マンガの中の人々
のように机の下に隠れるが、避けた場所に走る、救助を受けた後は、指示に
従って安全な秩序をもって避難する、家の家具を守り、戸棚に閉鎖防止
装置を取り付きます。照明の落下防止対策、つり下げ照明は落下しないよう
にワイヤーや銀で固定する、また、ガラスなど、割れた破片の飛び散りを防
止する飛散防止フィルムを貼る。

もし地震が来た時は、すぐに津波から逃げると自分のことを
一番に守ることが大切と分かり、その2つを一番にやる
と思いました。そして、食料も生活するに必要な物も準備
しないと大変なことになりますが分かりました。ほとんどの
店は売り切れだった(ほとんどの商品が残っていませんでした)。なので防災セットを準備しないと苦労することにな
る、とマンガを読んで分かりました。これが危機感を持った。

南海トラフのマンガを読んでまず一番意識しないといけない
事は、津波と、地震が一番意識しないといけないなと思いました。
理由は、港区は海が近いので、津波は絶対に来ると思います。
地震は、どこに行ても揺れるし、揺れたら土砂崩れや地割れ色々
あるので一番意識する。
地震の対策は揺れたら安全な場所に逃げることと、津波は海の近く
に行かないことが大事なのが分かりました。

地震や津波がおきたときのために非常食や懐中電灯など防災グッズ
を準備しておこうと思いました。後避難経路の確認や避難場所の確認
をしたり、家族とはどれだけの集合場所など準備できることがたくさんある
と思いました。地震がおきたときは、津波避難タワーへ避難して地震時
用具を確認する。地震がおさまっても警戒しておいた方がいいんだなと思いました。

あきらかに小さくなっていく字…
何か書かなければいけない理由が?